

2025 年度(令和 7 年度)

事業報告書

(第 15 事業年度)

自 2025 年 1 月 1 日

至 2025 年 12 月 31 日



公益社団法人 企業メセナ協議会
Association for Corporate Support of the Arts

目 次

I. 法人の概況	1
1. 公益社団法人設立年月日	
2. 定款に定める目的	
3. 定款に定める事業内容	
4. 公益法人の認定等に関する事項	
5. 会員の状況	
6. 役員等	
II. 組織運営の概況	3
1. 会議等の開催状況	
2. 部会・ワーキンググループによる事業・活動の推進	
III. 事業概要	5
公1:企業による芸術・文化支援および芸術・文化振興による社会創造の促進と普及	
1-1. 提言・提案活動	8
1-2. 調査研究事業	8
1-3. 認定・顕彰事業	10
1-4. 情報発信・提供.....	13
1-5. 普及促進	18
(1) セミナー・フィールド視察等	
(2) 国際交流	
(3) 地域メセナ交流・推進	
1-6. コーディネート、協力	21
公2:芸術・文化活動等への寄付を促す助成に関する事業	
2-1. 活動状況	24
2-2. 助成事業の利用状況	24
IV. 決算報告	29

I. 法人の概況

1. 公益社団法人設立年月日

2011年1月6日

※ 1990年4月20日設立の旧社団法人は、移行認定に伴い2011年1月5日に解散登記を行った。

2. 定款に定める目的

この法人は、企業をはじめ芸術文化に関わる団体が参加、協働し、芸術文化振興のための環境づくりと基盤整備に努め、創造的で活力にあふれた社会、多様性を尊重する豊かな社会の実現に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

この法人は、先の目的を達成するために、次の公益目的事業を行う。

- (1) 企業による芸術文化支援の促進と普及
- (2) 芸術文化支援に関する情報の収集・発信および仲介・協力
- (3) 芸術文化支援に関する調査・研究および文化政策に関する提言・提案
- (4) 国内外の芸術文化振興に関する団体・機関との交流・連携および企業相互の協力・連携による芸術文化支援の推進
- (5) 企業等による芸術文化支援活動の顕彰
- (6) 芸術文化活動への寄付を促す助成に関する事業
- (7) その他公益目的を達成するために必要な事業

この法人は、公益目的事業の推進に資するための事業を必要に応じ行う。

4. 公益法人の認定等に関する事項

当該事業年度 内閣府からは特段の指摘事項、勧告、または命令はなかった。

5. 会員の状況

正会員:102 社・団体 準会員:25 社・団体／個人会員 26 名 (2025年12月31日現在)

6. 役員等

(役員)

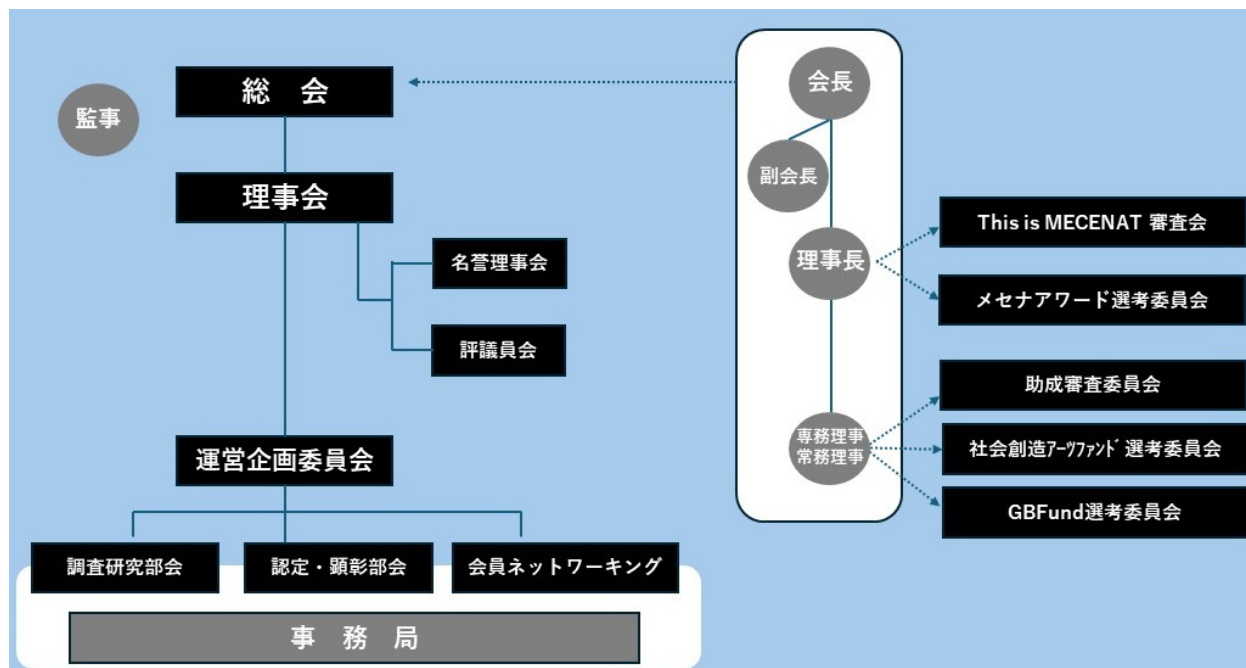
2025年12月31日現在

会 長	二宮雅也	SOMPOホールディングス株式会社 特別顧問
副会長	中村史郎	株式会社朝日新聞社 代表取締役会長
理事長	夏坂真澄	花王株式会社 前顧問
常務理事	澤田澄子	公益社団法人企業メセナ協議会
理 事	新井一輝	大日本印刷株式会社 ICC 本部 本部長
	石川智之	TOPPAN ホールディングス株式会社 執行役員広報本部長
	井上 武	トヨタ自動車株式会社 渉外・広報本部 社会貢献部 部長
	梶浦砂織	株式会社資生堂 アート&ヘリテージマネジメント部 部長
	小路明善	アサヒグループホールディングス株式会社 会長
	古賀信行	元野村ホールディングス株式会社 取締役会長
	萩原なつ子	独立行政法人国立女性教育会館 理事長
	原島 博	東京大学 名誉教授
	福川伸次	一般財団法人地球産業文化研究所 顧問
	星 久人	株式会社ベネッセホールディングス 特別顧問
	吉本光宏	合同会社 文化コモンズ研究所 代表
監 事	岩田武司	よこはま第一法律事務所 弁護士
	戎井真理	有限会社戎井会計コンサルティング 代表取締役 米国公認会計士

(顧問等)

顧 問	尾崎元規	花王株式会社 前取締役会会長
	高嶋達佳	株式会社電通 相談役
名誉理事	稲垣精二	第一生命ホールディングス株式会社 取締役会長
	遠藤信博	日本電気株式会社 特別顧問
	鹿島紳一郎	日本生命保険相互会社 常務執行役員
	佐治信忠	サントリーホールディングス株式会社 代表取締役会長 取締役会議長
	塚本能交	株式会社ワコールホールディングス 代表取締役会長
	平田保雄	株式会社日本経済新聞社 参与
	福武總一郎	株式会社ベネッセホールディングス 名誉顧問
評議員	奥村洋治	株式会社フジタ 代表取締役社長
	坂井辰史	株式会社みずほフィナンシャルグループ 特別顧問
	田中稔三	キャノン株式会社 代表取締役副社長 CFO
	麿 秀晴	TOPPAN ホールディングス株式会社 代表取締役社長 CEO
	水島正幸	株式会社博報堂 DY ホールディングス 代表取締役会長 CEO

II. 組織運営の概況



1. 会議等の開催状況

【定時社員総会】

- ・ 3月5日：2024年度(自2024年1月1日至2024年12月31日)事業・決算報告承認の件/定款の改正の件

【通常理事会】

- ・ 2月19日：2024年度(令和6年度)事業・決済報告書(案)の件/定款の改正の件/定時社員総会招集の件/代表理事・業務執行理事の職務の執行状況について/会員動向について/今後の予定
- ・ 12月18日：2026年度公益目的事業の種類及び内容の件/2026年度事業計画及び収支予算(案)の件/資金調達及び設備投資の見込みの件/新会員承認の件/「役員賠償責任保険」更新の件/代表理事・業務執行理事の職務の執行状況について/令和7年度新しい公益法人制度について/内閣府立入検査報告について/会員動向について/事業報告について/今後の予定

【臨時理事会】

- ・ 3月5日：新会員承認の件
- ・ 5月28日：新会員承認の件
- ・ 7月22日：新会員承認の件/評議員選任の件/名誉理事辞任の件

【運営企画委員会】

- ・ 2月6日 : 新任委員 紹介・挨拶/2024年度事業報告(案)について/「メセナ活動を通じたこどもへの支援について」(こども家庭庁の取組紹介)/諸連絡、今後の予定について
- ・ 7月29日 : 新任委員 紹介・挨拶/2025年度事業報告(1月～7月)/活動内容のご紹介(株式会社資生堂様)/諸連絡、今後の予定について
- ・ 12月3日 : 新任委員 紹介・挨拶/2026年度事業計画(案)について/2025年度活動報告(8月～11月)、活動内容のご紹介(サントリーホールディングス株式会社様)/諸連絡、今後の予定について

2. 部会・ワーキンググループによる事業・活動の推進

(◎: 部会長/グループリーダー、○: サブリーダー 敬称略 * 部会開催時)

【調査研究部会】 (1回: 11/18)

企業・企業財団によるメセナ活動の実態や傾向、意識等を調査・分析し、メセナを担う実務担当者に情報を提供するとともに広く社会に紹介。メセナに関する研究の提案、方向性を検討する。

◎天野真一(キャノン)、安西慧(SOMPOホールディングス)、村山秀樹(朝日新聞社)

【認定・顕彰部会】 (4回: 5/16、7/18、7/25、12/23)

メセナに取り組む企業・企業財団等を励まし、社会からの関心を高めることを目的として、百社百様のメセナを認定する「This is MECENAT」について議論し、顕彰事業「メセナアワード」の運営を担う。

◎松村真由美(JTB)、山下真一郎(鹿島美術財団)、竹吉春樹(第一生命ホールディングス)、日向ひとみ(大日本印刷)、笠間なつ美(電通コーポレートワン)

【会員ネットワーキンググループ】

会員相互の交流・連携強化を目的とし、情報交換・相談・研鑽等を恒常的に行える場を設ける。各事業に関連づけた会合を開き、相互のネットワークづくりに貢献する。

◎岡部三知代(竹中工務店)、村山秀樹(朝日新聞社)、菊水 尚(チャーム・ケア・コーポレーション)、緒方宏大(TOPPANホールディングス)、薩川浩章(ベネッセホールディングス)、鈴木久美子(リソー教育グループ)

III. 事業概要

メセナ活動における、多様な主体による協働や連携を推進 事業間でテーマを共有し、より効果的な発信に取り組む

2025 年は、戦後 80 年そして昭和 100 年という大きな節目の年であり、初の女性首相の誕生など、社会や政治の大きな転換点となった年であった。また、4 月から 10 月にかけて、「いのち輝く未来社会のデザイン」を掲げた大阪関西万博が開催され、未来社会のデザインだけでなく、戦争や世界平和についても考える機会になった。そして、国境や言語などの違いを超えて、芸術や文化の役割はますます重要になっていることを再認識した。

協議会の事業としては、2025 年は特に、メセナ活動における「多様な主体による協働や連携」についてセミナーなどを通して発信し、メセナの今を調査するメセナ活動実態調査にて、外部組織との連携について現状の把握に努めた。また、2024 年度に掲げた新たなメッセージ「芸術文化の振興を通じて心豊かな社会へ」を具現化していく最初の年であり、全国各地の多様なメセナ活動の掘り起こしに努め、それらの情報を効果的に発信していくことに注力した。

■連携・協働など創意工夫で進化する企業のメセナ活動を発信

1 月に、「多様な連携の姿から探る、企業メセナの可能性」というテーマのもと、企業や企業財団が連携して取り組む活動を事例として取り上げ、セミナーを実施した。それぞれの強みを活かすことで活動の充実と裾野の拡大につなげ、地域の芸術文化の醸成や次世代育成、産業振興など、社会の持続的な発展も期待できることを発信した。また、調査研究事業では、7 月から 9 月にかけて実施した「メセナ活動実態調査」のアンケート項目に、企業、企業財団のそれぞれのメセナ活動における外部組織との連携の有無と連携先を加え、現状の把握に努めた。

■事業間で連携し、全国各地の多様な企業メセナの掘り起こしと発信

各事業間で情報連携しながら、様々な媒体からの情報を収集し、全国各地で行われているメセナ活動の更なる掘り起こしに努めた。調査研究事業において、1991 年より毎年実施しているメセナ活動実態調査では、より回答しやすい工夫を行い、企業 539 社、財団 195 団体(対前年比:企業 12 社増、財団 5 団体減)から回答を得た。

認定・顕彰事業の This is MECENAT では、過去最高の 198 件(昨年 177 件)の活動を認定し、そのうち 44 件が新規活動の認定となった。学術性の高いギャラリーや新規コンサートプロジェクト、アーティストなどと地域の魅力を発信する公募展・イベント、洋楽を通じた英語教育や自社技術による伝統楽器の

研究・社会実装の取り組みなど、近年新たに開始し、これから展開していく活動も見られた。

広報では、地方紙向けに活動地域に合わせたプレスリリースを作成するほか、業界紙ごとにPRするなどの対応により掲載数の増加を図った。また、会員企業のメセナ活動と This is MECENAT で認定された活動を紹介しているアート&カルチャー(企業メセナのイベントカレンダー)において、定期的に対象活動のイベントをリサーチし、積極的な掲載呼びかけを行い、発信の強化に努めた。

■会員及び芸術文化に関わる人々の学びと交流の場を創出

協議会の会員をはじめ、芸術文化にかかわる様々な個人・団体が集う場・出会う場を生み、情報交換・研鑽の場を提供する取り組みとして、2025年も様々なイベントを実施した。6月には「北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ」視察ツアーを実施し、千島土地(株)のアートを切り口とした地域活性化の取り組みについて説明をうけた後、実際に現地を訪ね、まちの歴史や過去の遺産を受け継ぎながら、自由に創作活動に打ち込める環境、そして生活の中でアートを楽しむ基盤をつくる活動の視察を実施した。まちを歩きながら、参加者同士のコミュニケーションも活発になり、充実したイベントとなった。7月には、2024年度のメセナ活動実態調査の報告会を開催し、調査結果の報告のほか「企業の社会的価値を発信するメセナ活動」の具体的な事例のご紹介と、「パブリックリレーションズと企業ミュージアム～再定義されるミュージアムの価値と可能性」というテーマで特別講演を実施した。報告会終了後は、「アドミュージアム東京」の見学も実施し、参加者間のコミュニケーションの場を設けた。8月には会員ネットワーキンググループ主催の新入会員ファーストミーティングを実施した。2025年も、各部会メンバーや運営企画委員なども加わり、新入会員と交流を図った。意見交換や企画展の見学、懇親会など充実した交流の場となった。11月に実施した「メセナアワード 2025 贈呈式」では、贈呈式終了後にレセプションを実施し、広く会員企業等に参加を呼びかけ、受賞各社や会員企業、関係者の交流の場となるよう努めた。

■「GBFund」採択活動により芸術文化による復興支援を実施

助成事業では、令和6年能登半島地震により被災された人々の心を芸術文化で支え、被災地の文化再生や芸術文化活動の復興、コミュニティ再生などを行う活動を、2024年に募集・採択する予定で寄付金を募ってきたが、2024年の9月に能登半島が豪雨被害をうけ、活動募集が難しい状況であった。2025年は、引き続き現地状況のヒアリングを実施し、時期を見定め、2月から3月で活動募集を行い、4月に審査会を実施した。審査会にて16件の活動を採択し、総額759万円の助成金交付を決定した。

【2025 年度事業等実施状況】

月	主な事業・活動	理事会・部会等
1 月	助成相談日(1/22) ★メセナセミナー @御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター(1/30)	
2 月	★Mecenat Report 2024 発行(2/25) 助成相談日(2/26)	第1回運営企画委員会 @駐健保会館(2/6) 第29回通常理事会 @駐健保会館(2/19)
3 月	★This is MECENAT(TIM) 2025 募集開始(3/17-5/15) 助成認定制度&社会創造アーツファンド審査・選考委員会(3/18) 助成相談日(3/25)	第14回定時社員総会&第51回臨時理事会 @駐健保会館(3/5)
4 月	メセナアソシエイト第11期レポート公開(4/1) メセナライター第11期募集開始(4/7-5/12) 助成相談日(4/28)	
5 月	This is MECENAT(TIM)応募〆切(5/15) /メセナアワードエントリー〆切(5/31) 助成相談日(5/26)	認定顕彰部会①(5/16) 第52回臨時理事会(5/28)
6 月	会員ネットワーク勉強会 @北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ拠点(6/6) 全国メセナネットワーク2025年度総会(6/12) This is MECENAT(TIM)審査会(6/26) 助成認定制度&社会創造アーツファンド審査・選考委員会(6/23) 助成相談日(6/19) メセナアソシエイト第12期決定(6/30) ※第11期1名 継続	
7 月	メセナ活動実態調査アンケート開始(7/7) ★This is MECENAT(TIM)認定活動発表(7/16) ★調査報告会(7/23) 助成相談日開催(7/22)	認定顕彰部会②(7/18) 認定顕彰部会③(7/25) 第53回臨時理事会(7/22) 第2回運営企画委員会 @駐健保会館(7/29)
8 月	新入会員1stミーティング @竹中工務店/Gallery A4(8/20) 助成相談日(8/20) 調査アンケート〆切(8/27)	
9 月	メセナアワード選考会(9/5)、受賞活動決定 助成認定制度&社会創造アーツファンド審査・選考委員会(9/8) 助成相談日(9/30)	
10 月	★メセナアワード受賞活動発表(10/23) 助成相談日(10/30)	
11 月	「メセナアワード2025」発行(11/26) 助成相談日(11/21) ★メセナアワード2025贈呈式(11/26)	調査研究部会①(11/18)
12 月	助成認定制度&社会創造アーツファンド選考・審査委員会(12/4) 助成相談日(12/19)	第3回運営企画委員会 @ビジョンセンター田町(12/3) 第30回通常理事会 @駐健保会館(12/18) 認定顕彰部会④(12/23)

★はプレスリリースを配信

公 1: 企業による芸術・文化支援および芸術・文化振興による社会創造の促進と普及

1-1. 提言・提案活動

■行政、自治体など公的機関の文化政策活動への参画

- 静岡県文化審議委員会の委員として文化振興基本計画に参画
- 船橋市文化振興推進協議会の委員および第 3 次船橋市文化振興基本方針策定委員として、文化振興施策の評価、提言などを行い総合的な推進に参画
- 横浜市広報企画審議会に委員として任命され受嘱(～2025 年 6 月)
- 国民文化祭実行委員会に委員として任命され受嘱
- 東京舞台芸術祭実行委員会に委員として任命され受嘱
- 独立行政法人日本芸術文化振興会に芸術文化振興基金運営委員会運営委員として任命され受嘱
- 沖縄県における文化芸術の振興にかかる多様な財源確保可能性等検討委員会に委員として任命され受嘱(～2025 年 3 月)
- 独立行政法人国際交流基金の特定寄附金審査委員会委員として任命され受嘱

1-2. 調査研究事業

2025 年度の調査研究事業では、国内のメセナに関する調査、メセナ事例の研究(メセナアソシエイト・協議会アソシエイト)に重点を置いて業務を推進した。

■国内のメセナに関する調査を実施

- 日本の企業・企業財団を対象としている「メセナ活動実態調査」ではアンケートを中心にデータを収集し、本年度のトピックスとしては企業と外部組織の連携や AI 活用などによりメセナ活動の幅を広げている現状を明らかにするなど、メセナ活動の実態把握に努めた。調査終盤にはメールや電話などでの回答の呼びかけを行うなどさらなる回答率の向上を図った結果、2025 年度調査では、企業 539 社、企業財団 195 団体から回答を得ることができた(対前年度比:企業 12 社増、財団 5 団体減)。
- 『2024 年度メセナ活動実態調査報告書 Mecenat Report 2024』を 2 月 25 日に発行した。さらに、プレスリリースを配信し、調査結果を様々な分野で活用してもらえるよう働きかけ、企業や官公庁だけでなく、国内のアート関係者の方々へも送付し、企業のメセナ活動に関する雑誌記事等で取り上げていただいた。また、協議会から講師を派遣して実施した大学講義にて、教材としても活用された。
- 2024 年度のメセナ活動実態調査の結果報告と内容の理解促進を目的に 7 月 23 日に報告会を開催した。前半は、2024 年度のメセナ活動実態調査の結果報告を行い、「～企業の社会的価値を発信するメセナ活動～」をテーマに、エーザイ株式会社 森田氏より内藤記念くすり博物館、富士フィルムホールディングス株式会社 間瀬氏よりフジフィルムスクエアの取り組みをご紹介いただいた。後半は株式会社電通 PR コンサルティングの藤井氏より、「パブリックリレーションズと企業ミュージアム～再定義されるミュージアムの価値と可能性」をテーマとして、企業ミュージアムの事例およびその価値と可能性について講演いただいた。電通本社ビル会議室にて開催し、合わせて、オンライン配信を実施した。

- 2025 年度の調査研究部会は 11 月 18 日に実施。2025 年度実態調査の集計結果を分析し、各企業のメセナ活動の現状をより実態に則して把握できるよう検討を行った。

「2024 年度メセナ活動実態調査」報告会

～企業の社会的価値を発信するメセナ活動～

- 実施日 2025 年 7 月 23 日(水) 14:00～16:00
- 会 場 電通本社ビル内会議室・オンライン配信
(〒105-0021 東京都港区東新橋 1 丁目 8-1)
- 登壇者 ※敬称略
天野真一 [企業メセナ協議会 調査研究部会長/キヤノン(株) サステナビリティ推進本部 社会文化担当主幹]
森田 宏 [エーザイ(株) 内藤記念くすり博物館 館長]
間瀬紀美子 [富士フィルムホールディングス(株) コーポレートコミュニケーション部 宣伝グループ フジフィルム スクエア館長]
藤井京子[(株)電通 PR コンサルティング エグゼクティブオフィス 広報部 シニアコンサルタント]
- 参加者 会 場:23 名
オンライン:59 名

※独立行政法人日本芸術文化振興会委託事業「令和 7 年度文化芸術活動の動向把握に向けた基礎資料収集事業」



■メセナ事例の研究(メセナアソシエイト)

- 2014 年度より導入した「メセナアソシエイト」は、外部の若手研究者が各自の専門性を活かしながら関心あるテーマを設け、企業メセナについて研究を行うものである。オンラインも活用しながら事務局とミーティングで議論を深め、自らのテーマを探り、企業や企業財団への取材を行い、メセナの事例研究を行っている。
- 第 11 期(委嘱期間:2024 年 6 月～2025 年 3 月)メセナアソシエイト(1 名)は、(株)チャーム・ケア・コーポレーションおよび同社アートプログラム関係者へ取材を行い、完成したレポートを 4 月に協議会ウェブサイトに掲載した。

第 11 期メセナアソシエイト

氏 名	タイトル	取材企業・施設
大野はな恵	文化支援事業における連携と多層的価値創出-チャーム・ケア・コーポレーション「アートギャラリーホーム」の事例から-	(株)チャーム・ケア・コーポレーションおよび同社アートプログラム関係者

- 第12期(委嘱期間:2025年5月~2026年3月)は、選考を経て、1名を第11期からの継続で採用した。テーマは、「アートギャラリーホームの実践にみるwell-beingの可能性(仮)」である。株式会社チャーム・ケア・コーポレーションご協力のもと、高齢者入居施設でアンケート調査を実施した。その結果をもとにアートプログラムが高齢者のウェルビーイングにもたらす効用を明らかにしていく。

■メセナ事例の研究(協議会アソシエイト)

- メセナアソシエイトに加え、2020年度から若手研究者の育成とともに最新のメセナの動向を多角的に捉えた情報を提供することを目的とした協議会アソシエイトをスタートさせた。協議会が設定したテーマに基づき、調査・研究を行ってもらいホームページなどで公開することにより、日本および世界におけるメセナの潮流を理解し、日本におけるメセナ活動活性化の一助とする。2025年は1名採用した。テーマは、「シリーズ:各国メセナ活動推進団体の『今』 Vol. 3 イギリス(仮)」である。協働で研究および分析を進めている。

1-3. 認定・顕彰事業

「This is MECENAT」

■TIM開始以来初の応募数200件を達成、制度理解とともに協議会との関係性構築につながる

- 2025年度のメセナ認定制度「This is MECENAT」(以下「TIM」)では、当制度開始以降初めて応募件数が200件を超えた。最終的には198件、136社・団体が認定となり(2024年度:177件、119社・団体)、内訳としては新規認定44/継続認定154(件)、協議会会員67/非会員69(社・団体)となっている。2014年からの登録件数は延べ1,876件にのぼる。
- 新規登録の増加とともに、会員9割、非会員8割が昨年に続けて登録しており、年々制度への理解と浸透につながっている。また、今年度新たに認定された企業財団より正会員の申込を受け、TIM登録から協議会との関係性構築に貢献できている。

■継続的な掘り起こしと地方創生に取り組む地域に応募・推薦を働きかけ、全国における登録状況は7割へ

- 他事業のデータベース*を活用した掘り起こし、担当者への応募呼びかけを継続するほか、地方メディアやSDGs未来都市などの行政にも推薦依頼を実施した(*調査研究事業:実態調査回答企業、広報事業:クリッピング記事掲載企業、ライブラリー:企業メセナの過去資料など)。
- 全国の企業・芸術文化団体はじめ地方創生に取り組む自治体や商工会議所・経済同友会、また全国のアーツカウンシルなど、地域におけるTIM認知度向上に努めた。エリア別では北海道、群馬、岐阜、兵庫、広島、福岡、沖縄などで活動する企業、また初めて茨城県、長野県、石川県の企業において認定登録があった。(東京を除く本社企業・団体:66社)制度開始から、日本各地における登録状況は7割となっている。

■認定発表リリースの掲載記事数は対前年比2.7倍、認定企業による広報発信との波及効果が高まる

- 募集開始のプレスリリースは、外部配信サイト(アットプレス)に 66 件掲載された。認定発表のプレスリリースは、アットプレスのほか地方紙向けに個別で FAX 配信し、243 件記事が掲載され、対前年比 2.7 倍となった(2024 年:88 件)。認定企業からのリリース配信の反響も例年より大きく、より波及効果が高まったといえる。
- 認定企業・団体には、協議会サイト内のイベントカレンダー「アート&カルチャー」の利用を積極的に案内し、広報発信のサポートに努め、413 件を掲載した(2024:349 件)。また、2025 年度は 4 社・団体をメセナライターが取材し、企業メセナの現場レポート「企業メセナ訪問記」としてウェブに公開、広報力を強化した。協議会メルマガ・公式 SNS も含め、今後も多様な広報媒体を充実させていく。

「メセナアワード」

■「メセナアワード 2025」を選考、事業ノウハウの活用と多様な連携によりアートの裾野を広げる取り組みなどが受賞

- 「メセナアワード 2025」は、「This is MECENAT 2024」の認定活動 177 件を対象としており、5 月末の締切りまでに 39 件の応募があった。認定・顕彰部会での検討会により推薦された活動を含め、最終的には全 61 件を選考委員に提案した。
- 対象案件については 9 月に選考会を実施し、活動地域や規模、継続・発展性、独創性など幅広い視点で検討いただいた。特にメセナ活動と事業活動との関係性などについても審議いただき、芸術文化の土壌を育む多様な企業メセナとして大賞 1 件、優秀賞 5 件を選出した。また、優秀賞に関しては特に評価の対象となった点について、選考委員に考案いただいた。
- 事業ノウハウを活用して若手アーティストを支援し、官公庁や企業との協業により現代アートの裾野を広げ、新たな潮流を築いていく将来性のある活動をはじめ、半世紀にわたり子どもたちの読書環境の整備に取り組む活動、地域資源の保存再生・拡大を通じた持続可能なまちづくり、写真文化の保存継承と若手写真家の育成支援、社員編成の吹奏楽団による地域の音楽文化振興活動、女性音楽家の継続的なキャリア形成を支援する取り組みが評価された。

■贈呈式・交流会にて受賞企業・団体との交流を促進、若手新進作家によるトロフィーを制作

- 贈呈式を 11 月 26 日にスパイラルホールにて開催。当日は選考経過・受賞活動の報告、受賞企業担当者による活動紹介や、選考評などが行われ、式典後に交流会を開催した。受賞各社・団体、選考委員、協議会役員をはじめ、運営企画委員、新入会員や地方会員など協議会関係者が広く参加し、相互に交流を深めた(出席者:一般 85 名、プレス 14 名)。
- 大賞のエイベックス・クリエイター・エージェンシー株式会社からは、「大賞をいただいたことに責任を持ち、事業を通してメセナ活動をする、社会や文化に貢献する大きなインパクトを創出するロールモデルにしっかりとになりたい」とスピーチをいただいた。選考委員からは、「活動を継続し、それが発展していった先で素晴らしい活動に成熟している。これからの文化事業や日本を元気にしていくために大切なものに気づかされた」などの話をいただいた。
- トロフィー制作は、若手芸術家の育成のためスパイラル／ワコールアートセンターの協力のもと、若手の新進作家に委託している。今年度は新たに藤沢恵(ふじさわめぐみ)氏にオリジナルのトロフィー制作を依頼し、当日も作品を紹介いただいた。また、ホワイエにて大賞・優秀賞のトロフィー作品を展示した。
- ホワイエでは受賞企業の活動関連資料や映像、ポスターなどの展示スペースを設置。祝祭の場を演出するとともに、受賞活動への理解促進につなげた。また、今年度もサントリーホールディングス株式会社、三和酒類株式会社よりドリンク協賛をいただき、交流会にて出席者に提供した。

■プレスリリース、パンフレット制作、YouTube 配信など、全国へ広く受賞活動を発信

- 10月23日、11月7日にプレスリリースを配信(10月23日は文化庁同時配信)し、主要メディアをはじめ業界紙、専門誌などに取材いただいた。受賞活動発表から贈呈式まで含めメセナアワード関連記事数は239件(2026年1月16日現在)となり、朝日新聞をはじめ、地方紙では北海道新聞、徳島新聞、沖縄タイムス、また東洋経済やPRESIDENTなどの経済紙、その他音楽・放送業界、カメラ業界や自動車業界などの業界紙に掲載された。
- 贈呈式開催にあわせて制作したパンフレットでは、受賞活動の紹介、大賞受賞のトップインタビュー、選考評、来年度のアワード対象となる「This is MECENAT 2025」認定活動などを掲載した。当日出席者へ配布したほか、協議会関係者約1,600名へ郵送した。ウェブサイトでは、式典での受賞各社のスピーチや選考評などを開催レポートとして発信したほか、アーカイブ動画も掲載した。
- 贈呈式の様子はYouTubeでライブ配信し、首都圏はじめ地方会員やTIM認定企業、文化関係者、プレスなどに幅広く周知した。企業担当者からは、「それぞれの企業が、事業の持続性と世の中の人々の幸せのための文化貢献とを両立することに懸命に取り組んでいる事を確認し、大変勉強になった」といった声があった。ライブ配信の最大同時視聴者数は32人、視聴回数は487回(2025年12月31日現在)だった。



「メセナアワード 2025」贈呈式



担当者による受賞活動紹介

【「メセナアワード 2025」受賞活動および受賞企業・団体】

メセナ大賞		エイベックス・クリエイター・エージェンシー株式会社/ エイベックス株式会社 MEET YOUR ART
優秀賞	ー時代に合わせた対応で読書啓発を50年間継続ー	公益財団法人伊藤忠記念財団 すべての子どもたちに読書の喜びを
	ー地方再生の先導者として文化芸術支援を継続・拡充ー	中村ブレイス株式会社 石見銀山における古民家再生活動
	ー写真文化の継承と若手写真家の育成ー	富士フイルム株式会社 写真文化を守り育て、写真の持つ力を発信する「フジフイルムスクエア」の活動
	ー社員の音楽活動を支援し、地域の音楽文化を高めるー	株式会社ブリヂストン ブリヂストン吹奏楽団久留米
	ー女性音楽家のキャリア継続支援で活躍の場を広げるー	株式会社モデュレックス 東京女子管弦楽団への活動支援

【This is MECENAT 2025／メセナアワード 2025 審査委員】

仲町啓子	(実践女子大学名誉教授／秋田県立近代美術館特任館長)	※委員長
佐倉 統	(実践女子大学人間社会学部教授／理化学研究所革新知能統合研究センター チームリーダー)	
永山祐子	(建築家)	
八反田 弘	(東京藝術大学名誉教授)	
松尾卓哉	((株)17 クリエイティブディレクター／CMプランナー／コピーライター)	
山口 周	(独立研究者、作家、パブリックスピーカー)	
夏坂真澄	(企業メセナ協議会理事長)	*以上五十音順、敬称略

1-4. 情報発信・提供

■ 広報活動

(1) プレスリリース

配信サービスの利用を再検討とともにメセナアワード、This is MECENAT は受賞企業、認定活動の各社からのプレスリリースが相乗効果を生み、掲載数が一気に伸びた。

【プレスリリースによる情報発信:7件】

No.	配信日	リリースタイトル
1	2/25	2024年度メセナ活動実態調査 結果 社業や企業価値創造に資するメセナ活動の重要性が高まる
2	3/11	3/17より募集スタート「This is MECENAT 2025」 企業メセナ協議会が全国のメセナ活動を認定—芸術文化による心豊かなより良い社会に向けて、新たな価値を創出する活動を認定・発信—
3	5/28	令和6年能登半島地震への支援決定 ～GBFund 芸術・文化による災害復興支援ファンド
4	6/16	「2024年度メセナ活動実態調査」報告会開催 ～企業の社会的価値を発信するメセナ活動～
5	7/16	メセナ活動認定制度《This is MECENAT 2025》 「This is MECENAT 2025」企業による芸術文化支援活動 198件を認定
6	10/23	「メセナアワード 2025」受賞 6活動決定 メセナ大賞はエイベックス・クリエイター・エージェンシー株式会社／エイベックス株式会社の「MEET YOUR ART」
7	11/7	「メセナアワード 2025」贈呈式開催 芸術文化の土壌を育む多様な6社・団体を表彰

【事業関連記事のメディア掲出数】

年	協議会全体	メセナアワード	TIM	調査研究	助成	国際	その他
2019	4	126	47	5	1	0	23
2020	30	100	74	61	70	0	7
2021	2	132	68	58	0	0	6
2022	25	110	84	40	11	24	0
2023	2	113	119	54	0	28	343
2024	0	123	118	30	30	0	252
2025	3	254	360	54	0	0	59

(紙面、ウェブ掲載含む)

※2020年「協議会全体」30件のうち28件が「ネットTAM芸術文化応援プロジェクト」

※2020年「助成」はGBFundでコロナを災害認定、助成の実施によりプレスリリース配信したため

※2022年「協議会全体」は24件が30周年記念出版書籍に関する記事

※2022年 国際セミナーのプレスリリース配信を始めた

※2023年「その他」の342件は福原名誉会長ご逝去関連

※2024年「その他」の222件は福地名誉理事ご逝去関連

※2025年「その他」NHK会長選による歴代会長福地名誉理事の紹介

【主な掲出記事】

掲載日	媒体	内容	関連事業
2/26	NIKKEI COMPASS	2024年度「メセナ活動実態調査」結果発表	調査研究
7/1	保険毎日新聞	職員が参加する社会貢献活動 9・日本生命「未来世代・多様性・地球環境」中心に注力	アワード
7/17	富山新聞 富山 北國新聞 金沢	芸術文化振興活動で森八、日機装を認定 企業メセナ協議会	TIM
7/18	日刊建設工業新聞	136社の198件認定 企業メセナ協議会	TIM
7/25	日本食糧新聞	優良なメセナ活動認定 ハナマルキ みそ作り体験館	TIM
8/10	茨城新聞	芸術文化振興に貢献「常陽芸文」を認定 企業メセナ協、県内初	TIM
10/23	NewsPicks	「メセナアワード2025」受賞6活動決定 メセナ大賞に「MEET YOUR ART」エイベックス・クリエイター・エージェンシー(株)/エイベックス(株)	アワード
11/7	日刊放送ジャーナル	「メセナアワード2025」受賞活動6件決定 メセナ大賞に「MEET YOUR ART」エイベックス	アワード
11/27	朝日新聞	エイベックスなどメセナ大賞	アワード

(2)ウェブサイト運営

会員企業のメセナ活動および This is MECENAT 当年度認定活動を掲載するメセナに特化したイベントカレンダー「アート&カルチャー」は前年より掲載記事数は13%ほど増え、開設以降順調に増加しており、その年度ごとに活動と企業・団体の入れ替わりがあるが、確実に利用の定着化が進んでいる。その反面、PVが13%減となっており、掲載するイベントの内容による影響が大きいと思われるため、今後も

注視して解析を継続していく。

【ホームページへの年間アクセス数】 <https://www.mecenat.or.jp/>

年	ページビュー (閲覧数)	セッション数 (訪問回数)	ユーザー数 (訪問者数)	アート&カルチャー ページビュー
2021	105,220	41,667	31,874	19,432
2022	97,524	40,290	29,927	25,484
2023	109,775	42,759	30,309	49,215
2024	116,645	42,628	30,001	69,612
2025	108,102	50,345	35,224	60,427

※2023年10月よりグーグルアナリティクス GA4 における集計

※外部サイトの「This is MECENAT」と「かるふあん」を除く

【利用 SNS の動向】

(1)Facebook

	投稿数	いいね！数	フォロワー数	リーチ数
2021	147	2,106	2,106	10,853
2022	302	2,152	2,246	11,794
2023	427	2,187	2,239	19,967
2024	489	2,181	2,239	18,928
2025	553	計測不可	2,238	12,168

(2)X

	投稿数	フォロワー数	インプレッション数
2021	141	1,814	169,331
2022	332	1,869	258,014
2023	422	1,919	280,685
2024	497	2,019	271,882
2025	563	2,049	237,300

(3)Instagram ※2020年運用開始、2024年アート&カルチャーとの連動開始

	投稿数	フォロワー数	リーチ数
2021	25	213	7,512
2022	33	327	9,421
2023	20	431	3,718
2024	313	502	16,868
2025	538	572	16,533

【アート&カルチャー掲載数】

年	記事数		団体数	
	全体	TIM 認定活動	全体	非会員
2021	125	81	26	2
2022	267	170	36	8
2023	395	276	69	23
2024	460	349	71	26
2025	522	413	77	29

(3) メールマガジン

協議会からのニュースと会員情報について月 1 回(月初)に定期配信を行った。また主にプレスリリースに連動して、適宜個別の不定期配信も行った。協議会からのニュースでは、昨年に引き続き GBFund「芸術・文化による災害復興支援ファンド」による令和 6 年能登半島地震への支援におけるファンドの状況報告として「GBFund 通信」を定期メルマガに掲載した。会員情報は主にアート&カルチャーの新着情報と、そのほか準会員と全国メセナ協議会からのイベント・募集情報についても個別に受け入れている。

配信数は 2025 年も約 4%増と微増ではあるが、配信数としては約 130 件増加となり、引き続き配信し増加に取り組んでいく。

(4) メセナライター制度

第 10 期メセナライターにより昨年 2024 年に取材した分の 2 本の記事を公開した。第 11 期は 4 月 7 日～5 月 12 日で公募した後、5～6 月で選考を行い、3 名を採用。第 10 期から継続する 1 名とあわせて 4 名に委嘱した。第 10 期からの継続委嘱のライターには第 11 期の活動が始動するまでの間に取材を実施し、記事の公開をした。「企業メセナ訪問記」は 4 件取材、3 本の記事を公開し、協議会主催セミナー・イベントの開催レポートは 1 本公開した。企業メセナ訪問記はコーディネート事業であるトヨタ自動車株式会社との協働で運営するアートマネジメントの総合情報サイト「ネット TAM」のコンテンツ「アートと企業」と連携を引き続き実施し、5 本の記事を転載公開した。また、過去公開した 2 本の記事を翻訳し、英語サイトで公開した。

第 10 期(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 10 日)委嘱 7 名(新規 5 名、継続 2 名)

第 11 期(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 10 日)委嘱 4 名(新規 3 名、継続 1 名)

【企業メセナ訪問記:5 件】

公開	タイトル	ライター
1/20	近畿労働金庫 『『エイブル・アート SDGs プロジェクト』—アート×福祉金融の価値共創—』	半田将仁
2/17	株式会社ポーラ・オルビスホールディングスポーラ/ミュージアム アネックス 『『感受性のスイッチを全開に』誰もが気軽に楽しめる銀座のギャラリー』	辻陽一郎
8/25	株式会社ゼンリン/ゼンリンミュージアム 『『空気のような存在』になった地図と出会いなおす、地図文化を広める取り組み』	川崎 陸

9/29	公益財団法人三井住友海上文化財団『三井住友海上文化財団 ときめくひととき』公演に学ぶ、企業メセナの理想形	高巢真樹
11/17	株式会社高島屋／高島屋史料館 TOKYO 「わずか 50 m ² の『高島屋史料館 TOKYO』が発信する、百貨店が担うべき『本当のメセナ』とは」	高橋良美

【企業メセナ訪問記:翻訳・英語サイト公開 2 件】

公開	タイトル	ライター
3/7	Menicon Co., Ltd.: The Reason Why Culture is Essential for Corporate Management	Yoshiaki Seto
3/7	Nakamura Brace Co., Ltd.: Staying Close to Both People and Town to Support Old Traditional House Restoration Project by Nakamura Brace, Manufacturer of Orthopedic and Rehabilitation Devices	Kosuke Shimizu

【その他レポート掲出数:2 件】

公開	タイトル	ライター
2/28	メセナセミナー 「多様な連携の姿から探る、企業メセナの可能性」	福井さら
9/30	「2024 年度メセナ活動実態調査」報告会 ～企業の社会的価値を発信するメセナ活動～	福井尚子

■ 出版、ライブラリー

メセナ情報の提供とライブラリー運営、協議会出版物の電子データ化

- 既刊発行物の販売を実施
 - ・『企業メセナへのアプローチガイド』(2020 年 4 月発行): 8 冊
 - ・『サステナブル経営と企業メセナの役割』(2021 年 12 月発行): 11 冊
- 協議会事務所内のライブラリーでは、企業・団体名での書籍検索をスムーズにするため、企業および企業財団、協議会関連団体に関する書籍について、資料配架場所・並び順を変更した。また、企業メセナ、社会貢献、CSR 活動および文化政策、アートマネジメント等に関する情報収集活動を行った。

【ライブラリー概要】

公開時間	月曜～金曜日、11:00～17:00(要電話予約)
開架資料	<ul style="list-style-type: none"> ● 和書・報告書: 1,635 冊(企業と文化・社会貢献、文化行政・文化政策、アートマネジメント・文化経済学、公益法人・NPO・文化税制、名簿・年鑑・一覧) ● 洋書: 563 冊(14 カ国の文化政策、アートマネジメント関連) ● 企業・企業財団の資料: 約 962 企業・団体分 ● 新聞・雑誌掲載記事(1989 年 12 月～2025 年 12 月) ● 定期刊行物: 行政、芸術団体、研究機関、NPO、他

閉架資料	<ul style="list-style-type: none"> 映像・音声資料:265点(主催セミナー:1998-2001年) メセナアワード贈呈式:1991年～2011年
年間利用者数	1名(一般:1名)

1-5. 普及促進

(1) セミナー・フィールド視察等

■企業や企業財団が連携して取り組む事例から、新たな手法やアイデアを通じた活動の効果的な展開について学び、社会の持続的な発展に向けて企業メセナが果たす役割を考えるセミナーを開催。

- 企業メセナの傾向として近年広がっているテーマをもとに、活動規模やジャンルの異なる企業・団体をゲストにセミナーを企画した。また、調査事業と連携してメセナ活動実態調査の報告と先進的な事例を紹介し、知見を深める内容を開催した。当日は全てオンラインでライブ配信を実施し、一定期間アーカイブとして公開したほか、後日協議会サイト上に開催レポートとして報告・発信した。
- 上記セミナーは、会員企業の担当者をはじめ、芸術文化団体、文化施設、教育機関やNPO法人など様々な芸術文化関係者が参加し、アンケートでは93%から「大変満足／満足」の好評を得た。

メセナセミナー「多様な連携の姿から探る、企業メセナの可能性」

「多様な協働と連携」というテーマのもと、企業や企業財団が連携して取り組むメセナ活動を事例にセミナーを開催。ソニー音楽財団の戸上眞一氏からは、クラシックコンサートのノウハウをもつサントリー芸術財団と協働で、幅広い子どもたちを対象に上質な音楽体験を提供する世界最大級のクラシック音楽フェスティバルを紹介いただいた。しずおか焼津信用金庫の佐藤忠輝氏には、地元企業や職人と協力しながら、静岡市の地場産品をテーマに子どもたちの郷土愛の醸成や創造的な感性を育む取り組みについて、またホッピービバレッジの石渡美奈氏には、本社を置く赤坂への地域貢献をはじめ、国内から海外へ幅広く展開されるCSR活動についてお話しいただいた。後半のクロストークでは、活動を通して産業や地域文化を次世代へ継承していくことの重要性や、協働と連携によるメリットや課題について意見が交わされた。

- 日 時: 2025年1月30日(木)14:00～16:00
- 会 場: 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター ホール【EAST】
- 登壇者: 戸上眞一(公益財団法人ソニー音楽財団 企画事業部 部長)
佐藤忠輝(しずおか焼津信用金庫 お客様サポート部 係長)
石渡美奈(ホッピービバレッジ株式会社 代表取締役社長)
- 参加者: 会場29名／オンライン(視聴者数)81名



会員ネットワーキング

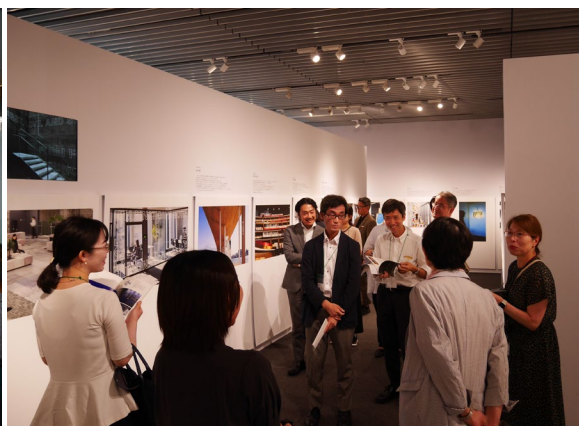
■新入会員をはじめ、幅広い会員が相互交流しやすい場をつくり、アワード事業と連携して関西圏の企業メセナの現場視察を実施。

【新入会員ファーストミーティング】

- 会員ネットワーキンググループ幹事主催の「新入会員ファーストミーティング」では、2025 年は 3 社の新会員が参加した。当日は竹中工務店に会場協力いただき、各社で取り組むメセナ活動のプレゼンテーションや協議会の活動概要等を説明した後、ギャラリーエークウッドの見学を実施した。会員ネットワーキンググループのメンバーのほか、運営企画委員やその他の部会メンバーも参加し、事務局スタッフも含めて相互に交流を深めた。

新入会員ファーストミーティング

- 日 時： 2025 年 8 月 20 日 (水) 15:00～17:30
- 会 場： 竹中工務店 東京本店1F ワイスクエア／ギャラリーエークウッド
- 参加会員： 14 名 (うち新入会員以下 3 社)
濱田 賢 (延楽)
中山佳彦、大高菜未、水野結唯 (東京建物)
菅本千尋 (明治産業)



【会員ネットワーク勉強会】

- 第 11 回勉強会では、大阪・北加賀屋でアートによるまちづくりを展開する千島土地を訪問。かつて造船業で栄えた工場エリアを再生し、企業やアーティストと共創して約 50 の創造拠点へと生まれ変わった「北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ構想」について話をうかがった。プログラム後半では創造拠点の一部を巡り、大型作品を限定公開した施設への視察や滞在クリエイターとの交流を深めた。
- 開催後は視察レポートを作成し、協議会サイトで発信した。

第11回 会員ネットワーク勉強会「北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ」視察ツアー

- 日時：2025年6月6日(金)14:00～16:30
- 視察先：北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ拠点
- スピーカー：芝川能一、宇野好美(千島土地)
- 参加者：9名(会員7名、一般2名)



(2) 国際交流

協議会の英語版ウェブサイトにも、例年掲載している調査報告書発行のプレスリリースに加えて、日本企業のメセナ活動を世界へ発信すべく、以下のメセナアソシエイトの事例研究1本と、メセナライターのレポート2本(P17 記載)を掲載した。

- Corporate Mécénat Activities Supporting Japanese Fine Arts with a Focus on Crafts—As a Bridge between Tradition and Modernity

また、日本語版ウェブサイトへ吉本理事による日韓文化交流事業の参加レポートを掲載した。

- 日韓国交正常化60周年 日韓文化交流事業参加報告

(3) 地域メセナ交流・推進

各地域の文化振興に寄与

- 全国メセナネットワーク(会員数:10 団体)の幹事として会の活性化を図るために、本年度も引き続き、6月12日にオンラインも併用して総会を開催した。前年度の決算報告をすると共に、厳しい社会環境の中で各団体の芸術文化振興に取り組む現状を共有し、活性化に向けた意見交換を行った。来年度も引き続き総会にて情報交換を行い、メセナ活動の活性化に向けた議論を継続することとなった。

1-6. コーディネート、協力

■芸術文化振興の専門機関として幅広い相談・協力に対応

- 企業メセナの専門機関として、協議会に蓄積された情報や知見を活かし、公益芸術団体など芸術文化振興に関わる幅広い相談に応じる他、具体的なメセナプログラムの開発や協力、コーディネート事業を展開。企業間および企業と他のセクターをつなぐ役割を担った。
- 出張講座
大学などの教育機関や文化関連団体・組織などの招聘に応じ、企業メセナに関する講座を実施。

出張講座(教育・普及活動)「企業メセナの歴史と最新動向」講義

- 3月16日 日本音楽国際交流会主催
「日本音楽の魅力発信プロジェクト-和の文化活動を通じた若手育成-」第6回講習会
『芸術文化と社会(企業)を考える ～企業メセナの歴史、最新トレンドから～』16名
- 6月5日 昭和女子大学 人間社会学部 現代教養学科「アート・マネジメントⅠ」
『企業のメセナ活動について』約30名

取材対応

- 株式会社財界展望新社「ZAITEN」
1月臨時増刊号「SC Review」SC Interview
『“文化のためのメセナ”から“社会のためのメセナ”へと変化を遂げた企業のメセナ活動』

執筆

- 一般社団法人日本交通協会「汎交通」
令和7年度 第Ⅲ号(12月) 特集寄稿『日本の企業メセナの歩みと展望』
- 株式会社宣伝会議「月刊 宣伝会議」
2026年1月号 特集2『社会課題の解決と企業価値の向上を図る新たな文化芸術支援の形』

- ネット TAM(トヨタ・アートマネジメント)

トヨタ自動車と協議会が協働して運営するアートマネジメントに関する総合サイト「ネット TAM」の事務局を担い、サイトの運営を行った。

昨年から引き続き、リアルとオンライン開催をかけあわせた大学生・大学院生を対象に通年プログラム「TAM スタジオ 2024 連続ゼミナール～ここからはじめるアートマネジメント」の後半プログラムを実施。実施レポートおよび参加者によるレポートをプログラム終了後に順次公開した。また、2024年で実施したウェブサイトのリニューアルにともなうサイトやメンバーズ登録システムの改修を完了した。

4月から2026年3月の当事業における2025年度では、これまで実施してきた参加者を募集しての対面が含まれる TAM スタジオをはじめとするイベント実施は一旦終了し、ネット TAM 本来の役割であるアートマネジメントのポータルに立ち返り、コラムや取材記事によるウェブサイトの更新を行った。コンテンツでは、ブログにおける「アート×企業」シリーズでは協議会の「企業メセナ訪問記」を転載するかたちで掲載してきたが、「アートと企業」という名称でコンテンツに昇格し、ネット TAM 独自の企画取材型の記事を掲載することとなった。

トヨタ自動車	アートマネジメント総合情報サイト「ネット TAM」の運営
<p>主な業務内容:アートマネジメント総合情報サイト「ネット TAM」(www.nettam.jp)事務局としてサイトの管理・運営、コンテンツの企画・制作、運営事務局の定例会開催、メルマガ配信(定期配信月 1 回ほか適宜)、SNS 管理・運営、イベントの企画・制作・実施。</p> <p>1. イベント実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● TAM スタジオ 2024 連続ゼミナール「ここからはじめるアートマネジメント」 ファシリテーター:野田智子氏(アートマネージャー/Twelve Inc.取締役) ・期間:2024 年 8 月～2025 年 3 月 トークセッション第 2 回(2 月 14 日)開催 /場所:トヨタ自動車株式会社 東京本社、ゲスト:奥山理子さん [みずのき美術館キュレーター、SW/AC ディレクター]、オンラインミーティング最終回(全 3 回)。トークセッションレポートと第 2 回スタジオメイトの声を公開 <p>2. ウェブサイト運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アクセス数(年間) 訪問数:約 86.4 万、ユーザー数:約 37 万 ページビュー:約 365.5 万 ● 主な更新内容: コンテンツ連載(月 1～3 件更新) 【リレーコラム】…アートマネジメントの現場で活躍中の方々が 1 つのテーマに沿ってリレー形式でつなぐエッセイ <ul style="list-style-type: none"> ・「ソノ アイダ ― 都市の隙間の可能性 ―」全 8 回(2025 年 4 月～2025 年 11 月) ・「アートにおけるアクセシビリティの可能性」全 7 回予定(2025 年 12 月～2026 年 6 月) 【社会におけるアート可能性】…災害など、社会に向き合うアート活動の現場レポート <ul style="list-style-type: none"> ・「能登半島に寄せる奥能登珠洲ヤッサープロジェクトの想い」全 5 回(2025 年 5 月～9 月) 第 5 回ではアートディレクター/アートフロントギャラリー代表さんのインタビュー取材を実施し、人材育成の一環で、TAM スタジオに参加した学生(新社会人含む)の希望者が取材現場に同行し、体験と質疑応答の機会を創出した。 【アートと企業】…企業の中にあるアートの現場レポート <ul style="list-style-type: none"> (1)企業メセナ訪問記の転載記事 <ul style="list-style-type: none"> ・(株)六花亭:シアター亭、ふきのとうホール、日本毛織(株):工房の風、近畿労働金庫:エイブル・アート SDGs プロジェクト、(株)ポーラ・オルビスホールディングス:ポーラ ミュージアム アネックス、(株)ゼンリン:ゼンリンミュージアム、(公財)三井住友海上文化財団:地域住民のためのコンサート「ときめくひととき」 (2)企画取材記事 <ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ自動車(株):トヨタロビーコンサート、富士モーターフォレスト(株):富士モータースポーツミュージアム 【ネット TAM ブログ】…災害、社会に向き合うアート活動の現場レポート <ul style="list-style-type: none"> ・「アートマネジメントのインターン現場レポート 世田谷パブリックシアター 2025」 世田谷パブリックシアターの協力のもと、インターン生のレポートを紹介。全 4 回 ・内覧会レポート 	

【その他協力依頼対応】

■ 委員・役員

依頼元	内容(期間・開催日)
文化庁	「国民文化祭実行委員会」委員 (2024 年 8 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)
静岡県	「静岡県文化政策審議会」委員 (2024 年 10 月 30 日～2026 年 10 月 29 日)

横浜市	令和6年度「横浜市広報企画審議会」委員 (2024年7月1日～2025年6月30日)
船橋市	「船橋市文化振興推進協議会」委員 (2023年4月1日～2025年3月31日) (2025年4月1日～2027年3月31日) 「第3次船橋市文化振興基本方針策定」委員 (2025年6月18日～2027年3月31日)
特定非営利活動法人 日本NPOセンター	評議員(2023年7月1日～2025年6月30日)
認定NPO法人 トリトン・アーツ・ネットワーク	「第8期評価委員会」委員(2023年～2025年)
独立行政法人 日本芸術文化振興会	「芸術文化振興基金運営委員会」運営委員 (2024年9月1日～2026年8月31日)
国立大学法人 琉球大学	「沖縄県における文化芸術の振興にかかる多様な財源確保可能性等 検討委員会」委員(2024年10月31日～2025年3月15日)
東京舞台芸術祭実行委員会	東京舞台芸術祭実行委員会実行委員会委員 (2025年4月1日～2027年3月31日)
独立行政法人国際交流基金	特定寄附金審査委員会委員 (2025年4月1日～2027年3月31日)

■後援

依頼元	内容(期間・開催日)
認定特定非営利活動法人 日本ファンドレイジング協会	「FRJ ファンドレイジング・日本(FRJ2025)」 (2025年1月18日)
特定非営利活動法人 世界劇場会議名古屋	「世界劇場会議国際フォーラム 2025 in ちりゅう」 (2025年2月26～27日)
公益財団法人ギャラリー エー クワッド	「ギャラリー エー クワッド 20年の歩み」 (2025年11月14～12月4日)

■その他

内容	依頼元
ラベル提供	アーバネット、TOPPAN、明治産業
相談対応	アーツカウンシル東京、日経BP、中央大学など

公 2: 芸術・文化活動等への寄付を促す助成に関する事業

2-1. 活動状況

■GBFund「芸術・文化による災害復興支援ファンド」における令和 6 年能登半島地震支援

2024 年 1 月 1 日に発災した令和 6 年能登半島地震を同年 1 月 11 日に対象災害として認定し、寄付を募集。本年も引き続き寄付の募集をし、分配可能な額に達したことから集まった寄付金の分配をすることとなり、活動の公募および選考委員会を開催した。その結果 16 活動採択、7,590,000 円を助成金として交付した。

また、寄付金の分配による助成金交付が実施できるまでの緊急対応として行なってきた助成認定制度を同ファンドで運用し、自ら寄付を集める活動の募集と審査・選考も同時に実施。採択活動の中で希望する活動 6 活動および採択活動以外の中から 8 活動を認定し、寄付金による資金調達の支援を行った。

■助成制度の利用状況

前年の 2024 年は制度やサービス利用者数が減少したが、本年は活動申請数が約 2 割増、新規認定数は 6 割増、助成相談日利用者数は約 5 割増となり持ち直し、利用状況に関しては全体的に増加に転じている。相談や問合せは一つひとついねいに対応し、都度利用の声かけを実施した。

一方で寄付金収入は、約 4 割減と大幅な減少となった。税制優遇が拡充される地方創生応援税制の利用増加にとともに、当制度に比べ優遇内容が充実していることもあり、寄付者の利用に影響を及ぼしていると考えられる。国の施策を踏まえ、公益法人としての役割を再考しつつ、当制度の役割についても検討しながら今後も運営していく。

■助成制度の利用促進、利便性向上

本年は GBFund の活動募集を実施したことにとともに、採択後に配布する手引きを新たに作成した。それをもとに、助成認定制度と社会創造アーツファンドにおいては、活動者にとってより活用できる制度をめざし、寄付集めの一助となるよう、認定・採択後の活動者向けの手引きを大幅に更新した。引き続き、活動者にとって寄付集めをするうえで便利に利用できるツールとなる資料を今後も引き続き作成していく。

2-2. 助成事業の利用状況

2-2-1. 社会創造アーツファンド[ArtsFund]

1. 【申請・採択状況】

(1) 芸術文化団体による活動の利用状況

・2025 年度各回利用実績

実施回	選考日	申請数	採択数
第 1 回	2025 年 3 月 18 日	5 件	3 件
第 2 回	2025 年 6 月 23 日	19 件	17 件

第3回	2025年9月8日	14件	13件
第4回	2025年12月4日	6件	6件
合計		44件	39件

・年度別利用状況の推移

実施年度	申請数	採択数
2018年度	23件	19件
2019年度	23件	20件
2020年度	18件	16件
2021年度	29件	22件
2022年度	28件	20件
2023年度	39件	36件
2024年度	31件	29件
2025年度	44件	39件

(2)目的別ファンドの継続運用と寄付者の要望に沿った寄付コーディネートを実施。

●The Okura Tokyo Cultural Fund（2017年3月設立・2019年10月名称変更）

実施回	選考日	助成総額	採択数
第1回	2017年3月16日	2,774,000円	3件
第2回	2018年3月6日	1,000,000円	2件
第3回	2018年12月17日	900,000円	2件
第4回	2020年3月19日	1,000,000円	2件
第5回	2022年9月15日	500,000円	1件
第6回	2023年9月22日	500,000円	1件
第7回	2024年9月6日	500,000円	1件

2.【寄付・助成状況】 SOMPO アート・ファンド、The Okura Tokyo Cultural Fundを含む

年度	寄付総額	助成総額
2018年度	332,193,261円	300,837,133円
2019年度	326,212,289円	324,521,423円
2020年度	174,023,742円	168,341,792円
2021年度	206,420,000円	195,271,600円
2022年度	224,176,523円	213,429,638円
2023年度	240,024,465円	227,128,050円

2024 年度	326,435,239 円	314,321,940 円
2025 年度	184,945,970 円	178,120,265 円

※SOMPOアート・ファンドは 2021 年度で終了

2-2-2. 「芸術・文化による災害復興支援ファンド」(GBFund)

1. 【申請・採択状況】2017 年 1 月名称変更より

実施回・年度	選考日	申請数	採択数	支援対象災害
第 1 回	2017 年 7 月 14 日	54 件	11 件	東日本大震災、熊本・大分
第 2 回	2018 年 7 月 13 日	46 件	13 件	東日本大震災、熊本・大分
2019 年	2019 年 2 月 27 日	10 件	10 件	東日本大震災、平成 30 年 7 月豪雨
2020 年	2020 年 10 月 8 日	74 件	16 件	新型コロナウイルス
2022 年	2022 年 3 月 2 日	1 件	1 件	新型コロナウイルス
2023 年	2023 年 7 月 10 日	1 件	1 件	新型コロナウイルス
2024 年	随時	5 件	5 件	令和 6 年能登半島地震・認定
2025 年	2025 年 4 月 22 日	49 件	16 件(6 件) 8 件	令和 6 年能登半島地震_分配(認定) 令和 6 年能登半島地震・認定のみ

※申請数、採択数には、追加支援を含む。(2021 年は、寄付金減少などにより、採択未実施。)

2. 【寄付・助成状況】※2011 年 3 月設立「東日本大震災による復興支援ファンド」を含む

年 度	寄付金総額	寄付金累計額	助成金総額	助成金累計額
2017 年度	4,367,060 円	159,085,370 円	4,897,390 円	145,430,577 円
2018 年度	1,445,824 円	160,531,194 円	3,080,000 円	148,510,577 円
2019 年度	1,532,627 円	162,063,821 円	1,303,127 円	149,813,704 円
2020 年度	3,587,455 円	165,651,276 円	3,444,376 円	153,258,080 円
2021 年度	302,345 円	165,953,621 円	0 円	153,258,080 円
2022 年度	1,207,958 円	167,161,579 円	1,070,000 円	154,328,080 円
2023 年度	26,228 円	167,187,807 円	397,216 円	154,725,296 円
2024 年度	15,789,164 円	182,976,971 円	3,671,750 円	158,397,046 円
2025 年度	3,645,190 円	186,622,161 円	14,082,311 円	172,479,357 円

※寄付先指定寄付金を含む

2-2-3. 助成認定制度

1. 【申請・認定状況】

実施回	審査日	申請件数	認定件数
第1回	2025年 3月 18日	22件	18件
第2回	2025年 6月 23日	18件	18件
第3回	2025年 9月 8日	9件	9件
第4回	2025年 12月 4日	10件	10件
合 計		59件	55件

2. 【年度別利用状況の推移】

実施年度	申請数	認定数
2016年度	102件	81件
2017年度	72件	65件
2018年度	88件	72件
2019年度	86件	70件
2020年度	66件	52件
2021年度	49件	43件
2022年度	63件	58件
2023年度	71件	65件
2024年度	56件	53件
2025年度	59件	55件

3. 【助成認定制度を通じた寄付件数と寄付金額】

年 度	寄付件数	寄付総額	助成総額
2016年度	337件	62,765,639円	67,485,639円
2017年度	412件	76,613,798円	77,024,613円
2018年度	471件	74,981,467円	75,820,652円
2019年度	499件	75,797,558円	73,572,558円
2020年度	289件	65,311,020円	60,146,020円
2021年度	277件	53,942,000円	57,577,000円
2022年度	310件	63,381,970円	63,946,970円
2023年度	370件	65,756,611円	66,896,611円
2024年度	387件	56,008,970円	56,938,970円
2025年度	365件	43,016,000円	43,271,000円

